

『長谷川修三先生から受け継ぐこと！』

6月20日、津島市の子どもたちのために東奔西走していただいた長谷川修三先生が急逝されました。享年74歳。先生は、南小学校の校長として、また市の特別支援教育の相談活動や特別支援教育の連絡・調整の体制づくりに力を入れて下さり、昨年度には中日教育賞を受賞していただきました。まさに市の特別支援教育にとって、唯一無二、なくてはならない人でした。先生の通夜式・告別式には多数の教職員にまじって、指導を受けた子どもたちが来てくれました。きっと長谷川先生は目を細めて喜んでみえると思いました。先生がつくってくださったこの特別支援教育の体制を、先生からのバトンと受けとめ、継承していきたいと思えます。

学校ではがん教育の授業が行われています。中学校は市民病院の先生、小学校は学校医の先生に外部講師をお願いし、市の保健師さんと一緒に「二人に一人が患うがん」という病気について教えて頂いています。がんについて正しく知ること、健康と命の大切さを自分の問題として受け止める、そんな目標で行っていただいています。「病」「死」が家庭から遠ざかり、病院で迎えることが多くなっている中、子どもたちの死やがんに対するアンケートを授業の導入として行っています。小学校では「病気の予防」の「たばこの害と健康」の中で、また中学校では「健康な生活と病気の予防」の「生活習慣病」の中で、がんで亡くなった有名な方たちの話を盛り込みながらデータを示していただきます。小学校6年生と中学校3年生で授業をお願いしています。子どもたちから感想を聞いてみてください。この授業は、医療関係の方の職業講話にもなっています。命を救う職業にリスペクトをしてほしいし、憧れてほしいと思えます。

夏のスポーツ大会が始まりました。中学校の支所大会（海部地区大会）もスタートしています。市の教育委員会が主催する錬成館大会も行われました。例年のように剣道・柔道・弓道・相撲・空手の五道の大会が行われました。武道は「礼に始まり、礼に終わる」と言いますが、皆さんの気合も入り、礼儀正しさを感じる大会となりました。今年は暑い日が続きそうです。熱中症対策にも配慮していただくつもりです。

荒梅雨や弓道場の射貫く

令和7年7月1日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視